

平成29年8月26日(土)

たんば まるやま

丹波丸山古墳群現地説明会資料

調査場所 京丹後市峰山町丹波

調査期間 平成28年6月3日～平成29年9月28日(予定)

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-3
URL <http://www.kyotofu-maibun.or.jp>

はじめに

丹波丸山古墳群は、丹後半島の中央部、京丹後市峰山町丹波に所在します。周辺には、全長100mの前方後円墳である府史跡湧田山1号墳や、鏡や腕輪形石製品が出土したカジヤ古墳(円墳、長径73m)など、多くの古墳が分布します。そのなかにあつて丹波丸山古墳群は丹波区の代表的な古墳群として知られています。なお「丹波」の地名は律令制の丹波郡丹波郷に由来するもので、丹後国が和銅6(713)年に分国されるまで丹波国であったことを示す歴史的な地名です。

発掘調査は、府道掛津峰山線防災・安全交付金業務委託事業に先立ち実施しました。

調査の概要

丹波丸山古墳群は、丘陵上に分布する35基の古墳から構成されます。丘陵の頂部に立地する直径30m前後の墳丘をもつ3基の古墳を中心に、尾根や丘陵斜面上に10m前後の小規模な古墳が連続して造られています。

今回の調査は、丘陵頂部に立地する32号墳と、そこから北東へのびる丘陵下方に連続して築かれた6基の古墳の調査を実施しました。また、丘陵裾部の調査では、須恵器が出土し、奈良時代から平安時代とみられる溝や焼けた土坑を確認しており、生産活動が行われた可能性があります。

32号墳の調査 32号墳は古墳群のなかでもとくに規模が大きく、眺望の良い丘陵の頂部にあります。西側は調査の範囲外となりますが、墳形は楕円形状で、墳丘規模は長径28m、短径25m、高さ4mを測ります。墳丘裾部には帯状の平坦面がめぐっており、供献土器とみられる土師器が出土しました。

墳頂には広い平坦面があり、5基の墓穴が見つかりました(埋葬施設1～5)。そのうち2基は舟底状木棺を使用したと推定されます。

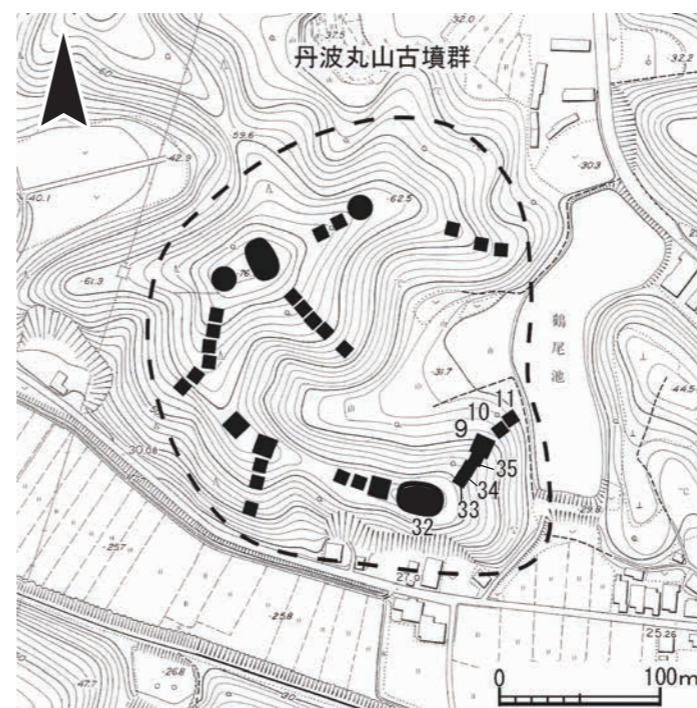


第1図 調査地位置図 (S=1/25,000)

埋葬施設1 墳丘の中心に位置します。東西方向に主軸をもち、方形の墓穴の規模は長さ6.1m、幅3.5m、高さ1.2mを測ります。墓穴は2段に掘られ、2段目の掘形の輪郭は舟形に掘られていました。その掘形のなかから、一木を削り抜いた舟底状木棺の痕跡を確認しました。棺の規模は、長さ3.3m、幅1.1mを測ります。舟底状木棺の西側は、すぼまった形をしています。また、東側は方形で、小口側に2条の突起状の土色の変化がみられました。棺の形を示すものか、あるいは舟を転用した棺であれば、棺を固定した材の痕跡の可能性がります。また、棺内の東側で赤色顔料の拡がりを確認し、被葬者の頭位は東頭位と推定されます。副葬品は、棺内から鉄製ヤリガンナ1点が出土しました。

埋葬施設2～5 埋葬施設2は、埋葬施設1の南側に並行して位置しており、その東側で埋葬施設3が見つかりました。埋葬施設4は、埋葬施設1と直交して、東側で見つかりました。また、最も小さな埋葬施設5は、埋葬施設1の北西側に並行して確認したもので、子供が埋葬された可能性があります。

9～11・33～35号墳の調査 32号墳の北



第2図 丹波丸山古墳群分布図

側稜線上に築かれた古墳です。9号墳は墳丘規模約12mの方墳で、埋葬施設から刳抜式の舟底状木棺の痕跡を確認しました。33～35号墳も、墳丘を階段状に削り出した方墳です。また、33・34号墳、10・11号墳は、埋葬施設が削平ないしは流失していました。

まとめ

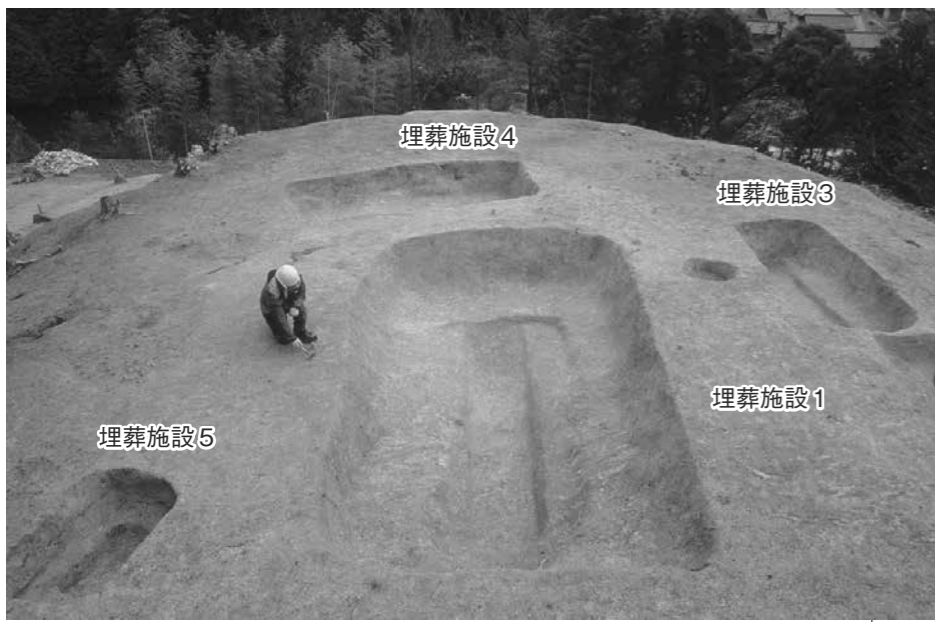
今回の調査では、7基の古墳を調査し、そのうち3基で埋葬施設が見つかりました。最も規模の大きな32号墳では、5基の埋葬施設を確認し、そのうち2基は舟底状木棺であることがわかりました。出土した土師器から、古墳時代前期の古墳と判断されます。

丹後地域の舟底状木棺は、弥生時代以来の系譜をひく木棺ですが、本調査では複数の舟底状木棺を確認することができました。また、32号墳の中心に位置する被葬者は、丹後の弥生墳墓に特徴的なヤリガンナを副葬しています。古墳時代にもなお、弥生時代以来の伝統が引き継がれていることがわかりました。

丹波丸山古墳群の調査は、古墳時代の丹波の歴史を知るうえで、貴重な成果となりました。

古墳	墳丘	埋葬施設	
		規模	形状
32号墳	楕円形状 円墳か (28 × 25m)	埋葬施設1	6.1 × 3.5m 舟底状木棺
		埋葬施設2	3.1 × 2.1m 組合式箱形木棺
		埋葬施設3	3.0 × 1.6m 組合式箱形木棺
		埋葬施設4	3.9 × 1.9m 舟底状木棺
		埋葬施設5	1.4m × 1.0m 組合式箱形木棺
33号墳	方墳(7m)	削平か	—
34号墳	方墳(7m)	削平か	—
35号墳	方墳(7m)	2.1 × 0.8m	舟底状木棺か
9号墳	方墳(12m)	2.9 × 1.4m	舟底状木棺か
10号墳	方墳(11m)	削平か	—
11号墳	方墳(10m)	削平か	—

付表 古墳の規模と埋葬施設一覧



32号墳 墳頂部埋葬施設（西から）

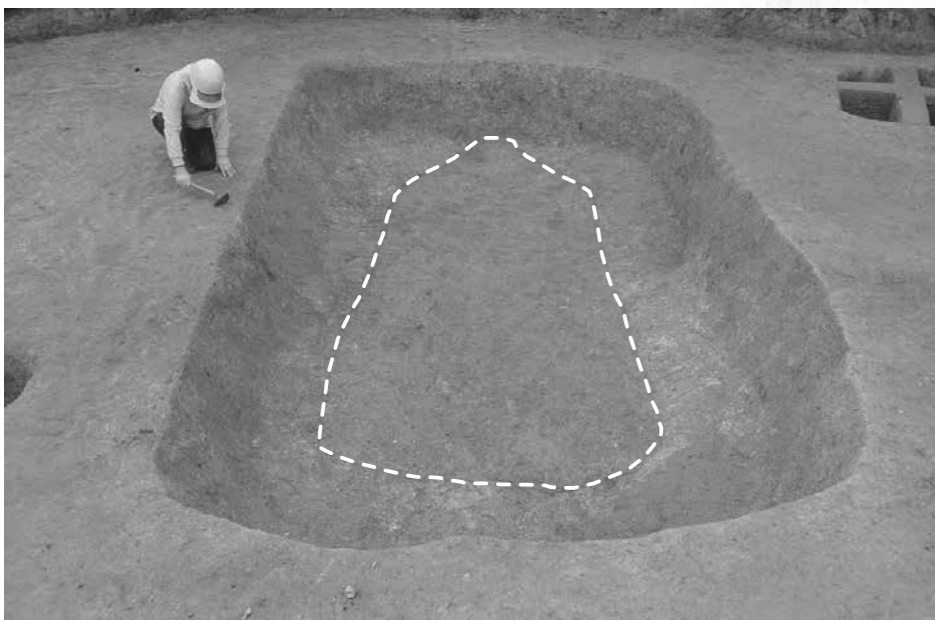
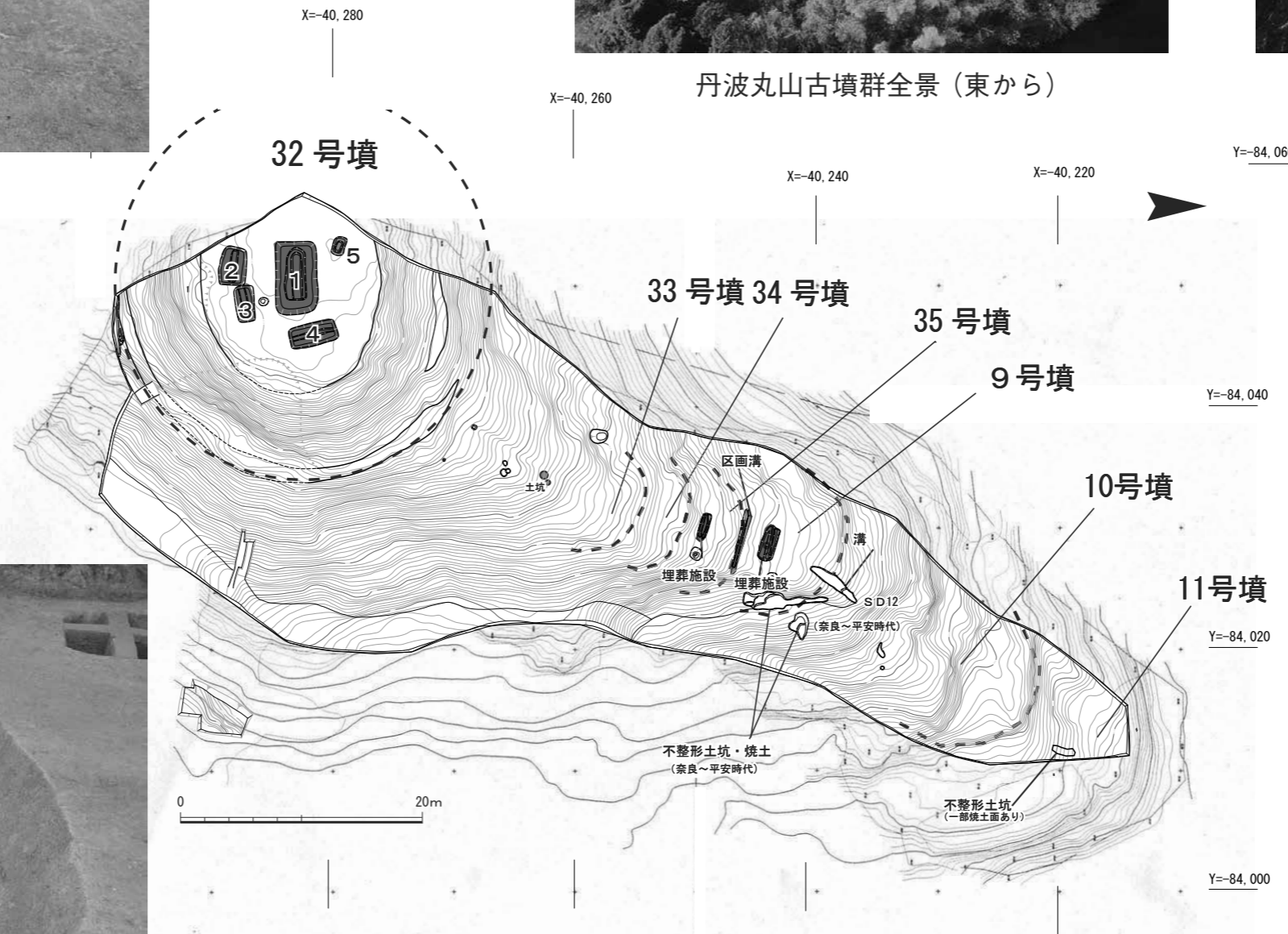


丹波丸山古墳群全景（東から）



32号墳 墳丘（北から）

丹波丸山古墳群



32号墳埋葬施設1 2段墓壇（東から）



埋葬施設1 鉄製ヤリガンナ（上が北）



32号墳 埋葬施設2（東から）



9号墳 埋葬施設（西から）



32号墳 埋葬施設4（東から）

・。○・舟形の棺・。○・

古墳の線刻壁画や埴輪には、舟（船）がモチーフとして描かれることがあります。死者は、舟で死後の世界へ運ばれるという他界観があったようです。